



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	先崎 彰容		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 2		
講義室	1211	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門展開科目		
科目小分類	演習・ゼミナール		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコードー学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D(市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A（日本精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢）地球の視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP 6 -K(表現力・対話力) 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコードー学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリックとの関連 A1(1 0 %) グローバル感覚 D1(2 0 %) 市民的要素と参加 K1K2 (5 0 %) ライティングコミュニケーション・オーラルコミュニケーション L1 (2 0 %) チームワーク		
教員の実務経験	特になし。		
成績ターゲット区分	3 発展期 ～ 4 完成期		
科目概要・キーワード	大学で最終的に必要とされるレジメ作成能力、発表能力、議論が行われる際に的確に応答する能力、以上を基礎から学ぶことができます。 ■（キーワード）本格的議論参加・レジメ作成能力の完成		
授業の趣旨	■副題 発展的な演習展開のための基礎資料の読解 ■授業の目的 テキストのスムーズな読解と発表により、参加者の活発な議論が展開できるようになるのである。 ■授業のポイント 正確なレジメを作成してきていることを前提し、参加者が積極的に議論を展開し、テキスト理解をより精度をあげることをめざすのである。		
総合到達目標	■上記「授業の目的」を達成するために、①前期「基礎ゼミナール」で学んだ学修をもう一度復習しつつ、②さらに正確な資料操作・検索とそれに基づくテキスト読解をできるようになることが目標となるのである。		
成績評価方法	■リアクションペーパー：3 0 % 適用ルーブリック A1(1 0 %) 、D1(20%) 、K1K2(5 0 %) 、L1 (2 0 %) (フィードバックの方法) リアクションペーパーに基づき、教員が適切な方法によって回答を行います。		

	■期末のレポート：70%（1回）適用ルーブリックK1K2（100%） （フィードバックの方法）教員による講評等を通じて、フィードバックを行います。	
履修条件	特になし。	
履修上の注意点	特になし。	
授業内容	テキストの精読を通じて、大学生にふさわしい教養を身に着けます。	
	回	内容
	1	①授業テーマ テキストの読解のためのガイダンス ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。もの目標を達成するにあたり必要な研究態度等について、初回のためガイダンスを行う予定です。 ③予習 初回なので特に必要ありません。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	2	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	3	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	4	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	5	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	6	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	7	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
	8	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成するこ

	とを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
9	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
10	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
11	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
12	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
13	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
14	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。テキスト全体を俯瞰し、総合的に議論を行うことにします。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
15	①授業テーマ テキストの読解 ②授業概要 指定した箇所のテキストを精読し、発表者が作成したレジメを添削したうえで、全員で議論を行います。特に最終回であることから、テキスト全体を俯瞰し、総合的に議論を行うことにします。 ③予習（120分）輪読する予定の書籍の該当箇所を事前に読書し、ノートを作成することを求めます。 ④復習（120分）授業で読解した部分について、再度読み直したうえで確認等を行うことを求めます。
関連科目	RMGT4602S
教科書	第一回目の講義で指定します。
参考書・参考URL	第一回目の講義で指定します。
連絡先・オフィスアワー	senzaki.akinaka@nihon-u.ac.jp 火曜日 3 時間目

研究比率	上記「教科書」に準じます。
------	---------------



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.